

脳神経外科からのお知らせ

顔や目のまわりが

ピクピク動く…

そんな症状はありませんか？



顔面けいれん（まぶたのピクピク）

にはボツリヌス療法があります。

顔面けいれんの症状

顔面けいれんとは本人の意思によらず、顔の片側（眼や口が多い）が突然ピクピクしてしまう病気です。主に顔面の動きを司る顔面神経のそばに血管があることが原因ですが、脳腫瘍などで症状がでることがあります。

短いピクつきが1日何回も起きたり、1日中ピクつきが持続する場合があります。初めての場合や軽症の場合は経過を見ても良い疾患ですが、目がふさがったり、人前に出て顔が引きつるほどになると生活に支障をきたし、治療が必要となります。

検査や治療法

脳腫瘍などで症状がでることがあるため、まずはCT・MRIで脳と脳血管を検査します。

治療は内服加療、ボツリヌスを注射する方法、手術で顔面神経に接触している血管を離す方法があります。

当院ではCT・MRI検査後、内服治療（抗けいれん剤）を行い、効果が乏しければボツリヌス筋肉注射を行います。

ボツリヌスは筋肉を弛緩すなわち収縮させない効果により、顔のピクピクを止めます。ボツリヌス注射で効果がないと外科手術となります。



顔のピクピクでお困りの方は
脳神経外科までご相談下さい